



1945.9.3 AM9:20 館山に米軍初上陸

戦争遺跡めぐり



あわ・がいど① 戦争遺跡

館山市を中心とした南房総地域の戦争遺跡をまとめたガイドブックです。A5判カラー52頁で600円(税込)。

戦跡ツアー参加者には、一冊ずつ差し上げます。なお、別途購入ご希望の方は、

松田屋書店 TEL0470-23-1661

宮沢書店 TEL0470-23-7771 まで

お問合せは

NPO法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム

千葉県館山市八幡822 〒294-0047

TEL.0470-22-8271 FAX.0470-23-8110

Eメール: npo@internet-ex.com

<http://www.internet-ex.com/npo>

協力
企業

たてやまた日海岸ホテル

TEL.0470-23-8111 FAX.0470-23-8110 <http://www.yuhikaigan.com/>

05/07/19/000

未来への遺産に「戦争遺跡」を

世界遺産条約には、世界の人びとが異なる歴史や文化を互いに尊重し理解し合うことで、世界の平和発展の礎にしようという理念があります。

21世紀に入って戦争体験のない親たちがほとんどとなり、子どもたちに「戦争と平和」をどう語り継いでいくべきかが問われています。そのなかで戦争遺跡は、地域から平和を考えていく貴重な文化遺産といえるのではないのでしょうか。

目に前で戦争の事実を生き生きと語ってくれる戦争遺跡は、子どもたちの体験学習のなかで戦争を体験する場にもなり、平和教育にふさわしい素材として極めて効果的な役割を果たしてきました。

このところ戦争体験の風化がすすみ、平和の「語り部」が数少なくなっただけに、「生き証人」としての戦争遺跡は、その存在をして「戦争と平和」を語りしめる、未来への遺産といえます。南房総・安房の貴重な文化遺産である戦争遺跡を訪れる方々の心に、より豊かな「平和の営」が育まれることを願っています。

NPO法人南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム 理事長 愛沢 伸雄

南房総に戦争の傷跡をみる。



館山海軍航空隊



洞ノ崎海軍航空隊



120高地 戦時指揮所



戦時使用機体壕跡



洲崎第2砲台 弾薬庫跡



「地」観望所(安房) 石灯

東京湾要塞とアジア太平洋戦争

私たちが住む南房総・安房は、日本列島のほぼ中央に位置して、太平洋に突き出た房総半島先端部を占めています。東京湾の入り口は、帝都東京と横須賀軍港の防衛に關わり、軍事戦略上では特別な役割をもち、日本近現代史と深く関わっている歴史的な特性をもった地域といえます。

1880(明治13)年、東京湾に侵入する敵艦船の航行を阻止するために、当時最高の建設・軍事技術によって東京湾口部の要塞建設が開始され、その後半世紀にわたって莫大な軍事費を注ぎ込んで、1932(昭和7)年に「東京湾要塞」は完成しました。当時の産業技術の粋を集めた要塞建設は、国民の目を隠した国家機密の塊であったのです。

ところで20世紀は、まさに「戦争の世紀」でした。東京湾要塞地帯として南房総・安房地域は、アジア太平洋戦争の軍事拠点として、館山海軍航空隊や館山海軍砲術学校、そして洲ノ嶋海軍航空隊などさまざまな軍事施設が設置されました。15年近くにわたる戦争のなかで、館山の地はそのことを物語る戦争遺跡が数多く残っています。たとえば、「陸の空母」と呼ばれた館山航空基地は、軍事戦略上において特別な役割を担っていたことで、「赤山」地下壕が建設されたと推定しています。

本土決戦と戦後日本のスタート地点

戦争末期、帝都防衛の最前線として南房総・安房の地では、陸軍のさまざまな特攻基地が建設され、本土決戦のために特攻部隊をはじめ7万人近くの兵士が配置されたのです。アメリカ軍の上陸地点と想定されたこの地は、「一億総玉砕」のかけ声のなかで終戦をむかえたのでした。「沖徳敗」の最中につくられた本土決戦陣地跡などは今でも鮮やかに残っています。

そして、戦艦ミズーリ号において降伏文書が調印された翌9月3日、館山海軍航空隊の一角にはアメリカ陸軍第8軍が占領軍として本土に初上陸し、わずか「1日間」ですが直接軍政が敷かれたのです。つまり、この館山こそ戦後日本のスタート地点だったのです。

私たちNPOは、戦時中、東京湾要塞地帯に暮らす人びとがどんな思いをもって地域で生きていたかを、東京湾要塞やアジア太平洋戦争に関わる戦争遺跡や資料・証言を通して、調査・研究しています。地域における戦争と平和のことを地域に生きる人びとの生活の視点や地域の歴史のなかから考えていきたいと思っています。

◆ツアーガイドのご案内 <◎Aコース①～④が基本コースとなります>

NPO法人安房文化遺産フォーラムでは、学校・各種団体の平和学習をご案内しています。

※戦跡めぐりツアーは、団体(10名以上)でお申し込みください。 ガイド料: 1人1,500円～(座学・ガイドブック代を含む)



Aコース

所用時間 約2時間
(オプションはプラス1時間)

赤山地下壕内部

- 1 アメリカ占領軍初上陸地点
- 2 館山海軍航空隊「赤山」地下壕跡
- 3 館山海軍航空隊 戦闘機用掩体壕跡
- 4 洲ノ嶋海軍航空隊 射撃場跡
- 5 「本土決戦」抵抗拠点 128高地「戦闘指揮所」「作戦室」地下壕跡 (オプション)
- 6 「陸 従軍慰安婦」石碑(オプション)

Bコース

所用時間 約4時間

「震洋」洞り台跡

- 1 東京湾要塞・洲崎第1砲台跡
- 2 第18突撃隊 波左間「震洋」特攻基地跡
- 3 東京湾要塞・洲崎第2砲台跡
- 4 東京湾要塞・洲崎弾薬支庫

Cコース

所用時間 約4時間

ボイラー室跡

- 1 館山海軍砲術学校跡
- 2 パラシュート降下訓練用プール跡
- 3 ボイラー室跡
- 4 平和祈念塔
- 5 高角砲東砲台跡
- 6 射撃場跡
- 7 布良陣地群跡

Dコース

所用時間 約3時間

「桜花」洞り台跡

- 1 第18突撃隊若井本部特攻基地跡
- 2 特攻機「桜花」下滝田基地跡
- 3 大房岬砲台関連施設跡 (砲台・弾薬庫・発電所・観測所)
- 4 探照灯関連施設跡
- 5 魚雷射撃基地跡
- 6 水陸両用戦車基地跡

※戦国大名里見氏城跡・文化財めぐりや日韓交流に関わるハングル「四面石塔」めぐりなど、地域の歴史・文化財もご案内いたします。